

免疫・炎症とアレルギーの現在そして近未来

富山県薬事研究所 所長
富山大学大学院医学薬学研究部 客員教授
高津 聖志

病原性微生物やアレルゲンに対する免疫応答の仕組みとその制御が細胞レベル、分子レベルで明らかになってきている。これまでに得られた免疫システム作動の仕組みを理解し、その制御のための技術的・知的基盤を確立すること、それらを創薬探索研究に結びつけアレルギーを克服することが求められている。Pharmacogenetics を意識して、研究をさらに加速する必要がある。また、アレルギーの発症にウイルス感染が関与することが最近明らかになってきている。粘膜における感染防御とアレルギー発症の制御は大きな研究課題であり、ワクチン開発も含め研究の進展が注目されつつある。

フォーラム富山「創薬」第26回研究会においては、「免疫・炎症とアレルギーをターゲットとした創薬」に関し、自然免疫と獲得免疫の接点、アレルギー疾患の制御、アレルギー治療薬などに関し、日本を代表する方に講演を御願いした。特別講演は「粘膜免疫と寛容」の研究、ワクチン開発の基盤研究における世界のトップスターである清野宏教授に御願いした。それぞれ最新的话题を発表していただけるものと期待している。限られた時間ではあるが、会員の諸先生とともに、免疫の仕組みとアレルギー発症の制御、創薬探索について考えてみたい。活発なご討議をよろしく御願いたします。

略 歴

高 津 聖 志 (たかつ きよし)

E-mail: kiyoshi.takatsu@pref.toyama.lg.jp, takatsuk@med.u-toyama.ac.jp

学歴：

昭和 42 年 3 月 富山大学薬学部卒業

昭和 48 年 3 月 大阪大学大学院医学研究科 (腫瘍発生学専攻) 修了

職歴：

昭和 48 年 7 月 ジョンス・ホプキンス大学医学部 博士研究員

昭和 51 年 8 月 大阪大学医学部・助手

昭和 53 年 12 月 同上・助教授に昇進

昭和 57 年 12 月 熊本大学医学部・教授

平成 2 年 12 月 東京大学医科学研究所教授を併任

平成 3 年 12 月 東京大学医科学研究所免疫学部門・教授に配置替え。

平成 11 年 4 月 東京大学医科学研究所感染・免疫部門免疫調節分野・教授

平成 19 年 3 月 東京大学医科学研究所を停年退職

平成 19 年 4 月 富山県薬事研究所 所長

富山大学大学院医学薬学研究部 客員教授

平成 19 年 6 月 東京大学名誉教授

所属学会：

日本免疫学会、日本アレルギー学会、日本炎症・再生医学会、日本細菌学会

日本癌学会、米国免疫学会、国際好酸球学会、日本学術会議連携会員 他

専門分野： 免疫生物学、基礎アレルギー学

受賞： 持田記念学術賞 (平成元年) フェロー (American Association for the Advancement of Science) (平成元年) 野口英世記念医学賞 (平成 16 年) Paul Ehrlich 賞 (平成 19 年)

